

今度はこれができる！

第13回（2013年3月10日）向け建設業経理士1級 財務諸表出題予想

	第1予想	第2予想	第3予想
第1問	理論記述問題 ・リース会計	理論記述問題 ・引当金(工事損失引当金含む)	理論記述問題 ・純資産会計
第2問	空所補充問題 ・連結会計 ・デリバティブ取引(ヘッジ会計)	空所補充問題 ・損益会計 ・無形固定資産(ソフトウェア)	空所補充問題 ・新株予約権 ・税効果会計
第3問	文章作成問題 ・工事契約 ・デリバティブ取引	文章作成問題 ・有価証券 ・退職給付会計	文章作成問題 ・減損会計 ・棚卸資産の評価
第4問	計算問題 ・資産除去債務 ・キャッシュ・フロー計算書	計算問題 ・社債 ・株主資本等変動計算書	計算問題 ・外貨建取引 ・有形固定資産
第5問	総合問題(精算表) <精算表の基本6論点> 貸倒引当金の設定(差額補充法)、減価償却、退職給付引当金、有価証券の評価、完成工事補償引当金、完成工事原価の算定	総合問題(精算表) <精算表の基本6論点> 貸倒引当金の設定(差額補充法)、減価償却、退職給付引当金、有価証券の評価、完成工事補償引当金、完成工事原価の算定	総合問題(精算表) <精算表の基本6論点> 貸倒引当金の設定(差額補充法)、減価償却、退職給付引当金、有価証券の評価、完成工事補償引当金、完成工事原価の算定

なぜ、こう予想した？

第1問では**理論記述問題**が出題されます。国際会計で注目されている論点に負債会計があります。特にリース債務の取り扱いが注目度が高いので、第1予想に挙げました。次に注目したい負債は引当金で、第2予想としました。引当金の設定要件から具体的な会計処理までを工事損失引当金で確認しておくといいでしょう。また、日本会計が国際会計と比較検討するうえで概念フレームワークがあります。この中心となっているのが資産会計と純資産会計となります。純資産会計は株主資本を中心に、資本計数変動の処理を確認しておきましょう。定義、意義、必要性や会計処理を論点ごとにまとめておくことが対策となります。

第2問では**空所補充問題**が出題されます。連結会計は2回に1回出題されている出題頻度の高い論点なので第1予想としています。また、連結包括利益のその他の包括利益となる「繰延ヘッジ損益」も同時に挙げています。個別の計算を中心に押さえておきましょう。また過去の出題実績を見ても、最近出題されていない損益会計と最近改正されたソフトウェアにも注意が必要なため、第2予想としました。空所補充問題は、キーワードとなる語句を論点ごとに整理しておくことがポイントです。

第3問は**語句を配列し文章を作成する問題**が出題されています。建設業会計で最も重要な工事契約がここ4回出題されていないことから、第1予想に挙げました。また、有価証券や退職給付会計なども計算と合わせて押さえておきたい論点です。会計理論と会計処理を合わせて捉えておくことが文章作成問題の対策となります。

第4問は**計算問題**が1問ないし2問出題されます。定期的に出題されているキャッシュ・フロー計算書と原状回復工事などで問題となっている資産除去債務を第1予想に挙げました。また、計算で注目しておきたいのが株主資本等変動計算書や社債となります。計算問題は会計処理である仕訳で流れを確認していくことがポイントになってきます。

第5問は**総合問題(精算表)**です。予想に挙げた基本的な6論点を中心に高得点をあげられる様に、充分に対策しておきましょう。また、最近の出題として、リース会計、デリバティブや外貨建資産・負債の換算が出題されていますので注意しましょう。

合格目指して
ラストスパートだ！

